

MANUIA

サモアと共に歩んで40年

JICAボランティア派遣40周年記念式典

日時：2012年9月22日（土） 場所：オラタ ホテル（@サモア）

サモアに咲いた日・サの輪

サモアにおける青年海外協力隊派遣は昨年、無事40年目を迎えることができました。これを記念し9月22日、40周年記念式典を開催すると共に記念会報を作成しました。記念活動の準備並びに実施に当たっては、多くの帰国隊員の皆様からご支援並びにご協力をいただきました。大変感謝申し上げます。

2012年、サモアは独立50周年を迎えました。また独立10年目に国交を樹立した日本政府が青年海外協力隊派遣取極を結び、隊員の派遣が開始され40年目を迎えた年でもあります。更に、現在の「シニア海外ボランティア」の派遣20周年を迎えるという、青年海外協力隊事業においては大変記念すべき年となりました。

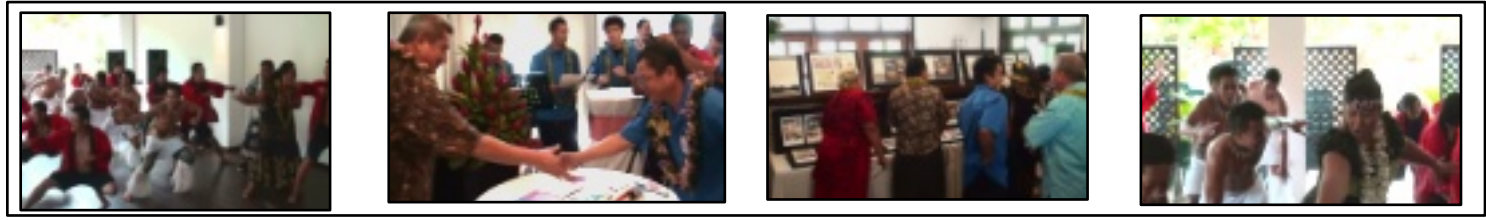


式典の計画に当たっては、どのような内容とするか少々頭を悩ましたところでした。隊員主導に依る実施の方針としましたが、日々の活動に加え、式典の準備は少々重荷であったかもしれせん。しかしながらこの懸念は、式典中の隊員とサモアの若者達とのヨサコイ踊の共演を見て、微塵に吹き飛んでしまいました。やはり主役は隊員達でした。

サモアでは本年1月に日本大使館が開設され、日本とサモアとの関係は新たな時代を迎えようとしています。またサモア側も国連基準による後発開発途上国からの卒業勧告への対応やWTO加盟による競争原理に基づくルールでの対応が求められるなど、変革が求められています。

これから活動する隊員達は、よりダイナミックに変化していく環境下で滞在し、活動することが求められそうです。一方、脈々と引き継がれて来た隊員活動とその成果はタスキのように今後も確実に引き継がれていくことは間違いがないと感じています。

【佐々木克宏 JICAサモア支所長】



第13号発行に当たって

この度、多くの方々のご協力のお蔭で第13号の会報発行を迎えることが出来ましたこと心より御礼申し上げます。

さて、昨年はJICAボランティア派遣40周年記念、そしてサモア独立50周年と大きな節目の年でした。6月下旬には駐日サモア大使主催のレセプションが東京で開催され、約250名のJICAボランティア関係者やそのご家族が全国津々浦々から参集しました。会場では至る所で旧交を温める姿が見られました。帰国後数年から何十年と経過しているものの多くの方々の心にはいまだにサモアが存在することが分かりました。これを受け、当OB会は日本における受け皿としてより一層皆様のために活動をしていかなければと心を新たに第13号です。そして様々なサモアの広報活動等を通して世代を超えそして老若男女が気軽に集えるサモアの「輪」を広げていければと思っておりますのでご協力お願いします。

また東日本大震災から早2年が経過しました。未だに多くの方々が大変な思いをしており、心が痛みます。当OB会としても何かしらの活動が出来ないかと考えております。アイデアお待ちしております。

【大塚一雄 昭和63年度3次隊 SE】